令和８年度第１回三木市手話施策推進会議　議事録

日　時：令和８年６月３０日(火)　１０：００～１１：３０

場　所：三木市立教育センター　４階　大研修室

出席者：会長　山本氏(兵庫県聴覚障害者協会理事)、副会長　梶氏(関西国際大学教育学部長)、藤原氏(三木ろうあ協会会長)、井本氏(三木市社会福祉協議会ボランタリー活動プラザみき　所長)、野藤氏(三木商工会議所中小企業相談所所長)、平田氏(三木市区長協議会連合会理事)、戸田氏(公募)

オブザーバー　武内学校教育課長

欠席者：帆先氏(三木市登録手話通訳者協会会長)、佐伯氏(公募)、厚氏(公募)

事務局：山城健康福祉部長、西本障がい福祉課長、増田障がい者支援係長、

稲垣設置手話通訳者、高島設置手話通訳士

傍聴者：なし

１　開会

【会長挨拶】

【自己紹介】

【令和７年度事業実施報告】

【質疑応答】

(委員)たくさん取り組んでいただき、ありがとうございました。

僕が少し思ったことを、２つお話させていただきます。

１つは、絵本を使って子どもたちが手話を自然に知り、身近なものとして考えていただくという絵本の読み聞かせというその活動の中で、目立たない活動かもわかりませんが、小さい子どもたちの中の芽生えを、手話に対するまたはいろんな障がいのある方々への理解という、そういう種をまくような活動だなと思います。写真を拝見すると、何人か参加されていて、これはぜひ続けていただきたい。その先に小中特別支援学校で、毎年４年生という高学年の自覚を持つ、そういう年齢で学校で手話の勉強をする。多分、校内ではそれを使って、また広げられていると思いますので、そういう自然な学びが作られ、学んだ子どもたちがまた講座に参加したりとかいろいろなところで興味を持っていただく。そういう自然な流れが用意されているので、これはぜひ大切に続けていただいたらいいなと思いました。

それから、もう１つは市役所の職員が全員２年目で必ず学ばれている他に、学校で言う放課後という時間帯で主体的に学びを進められて、しかも資格や検定に挑戦されているというそんな取り組みが本当にすごくいいなと感じました。

それに消防署の皆様も、たくさん学ばれているという。これもぜひ大切に続けていったらいいなって思いました。以上２つが感想です。

１つ質問です。何年前かわかりませんが、救急で呼んだときに、やっぱり文字でのコミュニケーションだと、すごくタイムラグがあるし、とてもしんどい思い、つらい思い、痛い思いをしている。それが伝わらないというので、ぜひ消防署の救急で手話をという、そんな流れになったんだと思います。実際はあって欲しくないですけど、伝わった、良かったよという事例を、消防署の方から聞かれていますか。

（事務局）ここ数年、三木市に登録している手話通訳者と要約筆記者の名簿を消防本部に預けています。閉庁後にネット 119 などで消防に通報があった場合、まず名簿の一番目から順番に通訳の方に連絡が来ます。その間に、消防署の職員が名前とか症状はどうですかというやりとりを、簡単な手話でできることで、聞こえない方から、手話を見るだけで安心できるという話を直接お聞きしているので、研修の効果はあると思います。

また、実際の現場で「こういった状況で手話をどうすればいいのか」という消防署の皆さんからの質問もあります。そのケースケースに対しての手話の勉強もして、実際出動したときに、ちょっと手話ができるようになってきたという話を消防署員からも聞くので、お互いにとっていい傾向であるかなと思っています。以上です。

(会長)ありがとうございました。他に何か感想とか質問ございましたらお願いいたします。

特にないようですので進めてもよろしいでしょうか？

【協議事項(1)令和８年度事業実施(案)について説明】

【質疑応答】

（会長）令和８年度も、たくさんの計画が進められるということのご説明がありました。その中で１つ気になることがありますので、私からご質問させていただいてよろしいでしょうか。⑭事業所に対する手話啓発講座実施とあります。申し込みを待っている状況ということが先ほどあったんですけれども、本日、中小企業相談所所長様が出席されているので、何か良い方法がございましたらアドバイスをいただけたらと思います。いかがでしょうか？

(委員)⑭の事業所に対する手話啓発講座の実施ということですが、市が開催されている講座ということでよろしいですかね。例えば案内のチラシといいますか、そういうものがあるようでしたら、こちらの会報誌に同封したりという形で PR することは可能なのかなと思います。

（会長）ありがとうございます。事務局、いかがでしょうか？

（事務局）ありがとうございます。毎年実施はあっても、1件という状況が続いていますので、一度大々的に商工会議所に登録されている事業者様に対して、チラシと周知を、今年度できたらなと思いましたので、ぜひチャレンジさせていただきたいと思います。日程調整等については、この後詳細に説明を伺いたいと思います。よろしくお願いします。

【協議事項(2)今後５年間のＫＰＩ(重要業績評価指標)について説明】

なかなか数値目標というものが立てにくい項目もありましたので、まずはしっかりと毎年実施していく。評価の段階で、もう役割を終えたような事業があれば、この中で協議をしまして、別の事業へ変えていくとかそういう形で今後も続けていきたいと思います。

こちらの案について、皆さんで一度ご審議いただきたいと思います。よろしくお願いします。

（会長）事務局の方からの説明が終わりました。

皆さん何かご意見などございましたら挙手の上、発言をお願いいたします。

(委員)以前の会議を受けて、どんどん改善というか改良というか、進めていただいてありがとうございます。今回もこうやって数値目標を考えていただいて、具体的に前に進める目標ができてよかったかなと思います。KGI で数字を出すのはなかなか難しいので、こうやって KPI でいろんな手段の目標値を挙げながら条例にあるものを進めていくという、実際に前に進めていく方略を示していただいたようで、とてもいいなって思っております。

あと子ども関係については、例えば3番ですね。先ほどの説明で子どもの参加者を増やすということについて、僕は子どもと関わる仕事なので大賛成です。子どもが増えれば親御さんも必ずついてくるので、ターゲットとしてはとてもいいんじゃないかと思いました。以上でございます。

(会長)ありがとうございました。他にいかがでしょうか？

数値目標があるとわかりやすいですね。

ご自身の仕事に関わることでも結構ですので、お話しいただければと思います。特にないようでしたら、次に進めてもよろしいでしょうか？

【6　その他　(1)ブルーライトアップ協力のチラシについて説明】

(事務局)ブルーライトアップについて、協力企業様を募集していきたいと考えております。その中で事務局案として、3つほどチラシ(案)を作ってきました。これが資料5となっております。

我々は素人ですので、なかなかこれが良いのか悪いのかということを判断しかねるところもありますので、皆さんにも確認いただいてどの方向がいいとか、さらにまたこんなことを付け足した方がいいんじゃないか、というご意見をい

ただきまして、ブルーライトアップの協力企業様募集のチラシを完成させていきたいと思います。

完成した暁には、こちらのチラシを野藤様にご協力を仰ぎまして、市内企業様に周知できたらなと考えてございます。

忌憚のないご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

3つの違いを説明します。資料5の案1につきましては、ブルーライトアップなので黒バックにしてみて、実際の画像に関しても青の丸が濃く、少し幻想的なデザインにして作っています。

案2につきましては、案1の方は写真が少しぼやけているので、もっと目立つように写真の縁取りのところを白くして作っています。

案3につきましては、なかなか黒いチラシは手に取ってもらえないんじゃないかということで、白バージョンを作ってみました。

それぞれ、作った理由や狙いは、そういったところでございます。

その他、何かご意見等あればよろしくお願いいたします。

(会長)皆さんいかがでしょうか？手に取ったときに、どれがいいと思われますか？ご意見をお願いします。

（委員)弱視の方が見たら、案2のこの黒いのはやっぱり見やすいのかなって思います。それから雰囲気や明るさに関しては、案1、2は少し重い感じがするので、案3が一般受けするのかなって思います。

あと中学生はキャンバか何かAIを使って、ポスターを作る能力を持っていると思うので、中学生に頼んで外注してもいいのかなと。本当に障がい福祉課の皆さんお忙しいので、今後頼んでみてもいいのかなと思ったりします。以上でございます。

(会長)ご意見ありがとうございました。

いろいろな人が関わりを持ってポスターを作っていただく、というのもいいかと思いました。

皆さんいかがでしょうか？何かご意見いただけますか。

(委員)この黒い色がそういう意味があるものだというのが分からなかったので、すごく勉強になりました。

うちの会報誌に同封していただくという事ですが、この9月23日に間に合わせるという形であれば、うちは奇数月に会報誌を発送しているんです。

ですので、9月に発送したらちょっと間に合わないと思いますので、7月になるのかなと。7月20日に発送しますので、こういうパンフレットとかチラシは、7月10日ぐらいに事務所の方にいただくことになっています。

ですので、外注して作成するとなると、タイミング的に間に合うか分からないんですが、今年であればそういうスケジュールでお願いできたらなと思います。

(会長)ありがとうございました。

締め切りも含めて、貴重なご意見ありがとうございました。

外注というのは、来年に向けてできたらいいなと思います。

他にご意見がないようでしたら、これで終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか？皆さん貴重なご意見、ありがとうございました。

(事務局)事務局としても、これが最終系とは全く思っていなくて、一度委員の皆さんに意見を聞いてみようかぐらいの感じでした。子どもたちに外注してみてはどうかというご意見もありましたので、その辺りも含め検討していきたいと思います。

今年度についてはこんな感じですが、来年以降手話言語条例啓発ポスターの最優秀作品をこういうところに入れていくとか、いろんなやり方があると思うんです。

最初からそのポスター自体を、例えば手話まつりの募集チラシを考えて作ってくれとか、そういう題材を変えていくというのも一つですので、貴重なご意見をいただきましたので、今後、やっていることがより良い方向にしっかり繋がっていくような施策にしていければなと思いますので、ご意見いただきましてありがとうございました。

（会長）これで今回の協議事項は全て終了いたしました。事務局に進行をお返しいたします。ありがとうございました。

(事務局)会長、どうもありがとうございました。

それでは、事務局から事務連絡を何点かさせていただきたいと思います。

冒頭に、説明しましたけれども、市内の小中特別支援学校の手話啓発ポスターの募集が 9 月上旬ぐらいが締め切りとなってございます。第 2 回の会議につきましては皆さんにご審議していただくことを考えておりますので、2 回目の会議を 10 月頃に開催したいと考えております。

また、日程等決まりましたらご案内を差し上げますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上で説明を終わります。

それでは、閉会の挨拶を副会長からお願いしたいと思います。

【閉会挨拶】

(副会長)皆さん、本当にお忙しい中お集まりいただき、いろんなご意見をいただきありがとうございました。先ほど増田さんのお話の中で、10 年は全然意

識してなくて、10 年経って前に進んで新たな広がりや繋がりが実現できる、そういう活動になっているのかなと感じました。

また、引き続きどうぞよろしくお願いします。

本日は、どうもありがとうございました。